

トレーニング演習 I		講義	准教授 伊藤 新
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門選択科目	科目ナンバリング	12371403

1. 授業のねらい・概要

この科目は、柔道整復師国家試験対策の授業を行う。柔道整復学上肢の骨折、脱臼の範囲を対象として、国家試験でよく出題されている内容やキーワードを説明する。また国家試験の傾向をつかみ、問題をしっかり解けるようになることをねらいとする。

2. 授業の進め方

Power Point を用いたスライドによる授業を行う。毎講義ごとのテーマに合わせて国家試験問題を解きながら、その解説も行う。

3. 授業計画

1. 鎖骨の骨折と肩甲骨骨折	9. 手根骨骨折
2. 上腕骨近位端部骨折	10. 中手骨骨折
3. 上腕骨骨幹部骨折	11. 手指部骨折
4. 上腕骨遠位端部骨折①（顆上骨折）	12. 肩部の脱臼
5. 上腕骨遠位端部骨折②（外顆および内側上顆骨折）	13. 肘部の脱臼
6. 前腕骨近位端部骨折・前腕骨骨幹部骨折	14. 手部の脱臼
7. 前腕骨遠位端部骨折①（コーレス骨折）	15. まとめ（問題演習）
8. 前腕骨遠位端部骨折②（スミス骨折など）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ①毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容である上肢外傷の受傷機転や症状、整復法、固定法、合併症についてテキストを用いて予習し、疑問点などを明確にしておくこと（1～2時間程度）。
- ②毎講義終了後はテキストの予想問題などを解答し、必ず復習すること（2時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答のポイントおよび出題意図を試験終了直後に説明する。

6. 授業における学修の到達目標

国家試験でよく出題されているキーワードを理解し、問題を解いて解説できるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

定期試験を実施し評価する（100%）。

8. テキスト・参考文献

- ①柔道整復学・理論編改訂6版 社団法人全国柔道整復学校協会南江堂
- ②柔道整復学・実技編改訂2版 社団法人全国柔道整復学校協会南江堂
- ③絶対出る！柔道整復師国家試験重要問題 柔道整復学下肢・総論編 医歯薬出版
- ③必要に応じて各項目の重要ポイントを補足資料として配布する。

9. 受講上の留意事項

私語およびスマートホンの使用、飲食、帽子の着用は禁止とする。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、整形外科における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。